

助成金情報

他にも多くの助成金やセミナーがあります。詳しくは、メイトム宗像のホームページ→その他リンク一覧をご覧ください。窓口での相談も受け付けています。

メイトム宗像

助成金 保健・医療・福祉分野

- 第27回 地域福祉を支援する「わかば基金」支援金部門
【対象】国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金で活動の輪を広げたいというグループが対象
【申込締切】3月31日(火)※必着/郵送のみ
【助成金額】100万円(1件あたりの上限額)
【問合せ】社会福祉法人 NHK厚生文化事業団「わかば基金」係
TEL: 03-3476-5955

助成金 学術・文化・芸術・スポーツ、子どもの健全育成など

- 2015年度自然体験活動支援事業
「第14回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」
【対象】自然体験、地域交流、環境教育、史跡探訪、自然探検、アウトドアスポーツなど目的が明確であり、子どもたちの健全育成に寄与するもの
<学校部門>と<一般部門>有り
【申込締切】5月17日(日)※必着
【助成金額】10万円(1件あたりの上限額)
【問合せ】公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」係
TEL: 072-752-4335 FAX: 072-752-1288

助成金 保健・医療・福祉分野

- 第67回 保健文化賞
【対象】保健衛生(関連する福祉等を含む)を実際に著しく向上させた団体あるいは個人
【申込締切】4月15日(水)※当日消印有効
【助成金額】200万円(1件あたりの上限額)
【問合せ】第一生命保険株式会社 DSR推進室
TEL: 050-3780-5776

助成金 社会教育、環境保全、子どもの健全育成、農山漁村・中山間地など

- 平成27年度公益信託自然保護ボランティアファンド活動助成
【対象】我が国の国立公園及び国定公園における自然保護上重要な地域で行われている多様なボランティア活動など、地域の理解や参加協力を得られる広範な活動を行っているボランティア団体
【申込締切】4月3日(金)
【助成金額】30万円(1件あたりの上限額)
【問合せ】一般財団法人 自然保護ボランティアファンド
TEL: 03-3556-0818 FAX: 03-3556-0817



市民活動の情報発信&収集、助成金情報など幅広く利用できる

メイトム宗像ホームページを活用!

メイトム宗像ホームページは、市民活動を実践するために見逃せない情報がいっぱい。団体登録や情報発信を希望される方は、むなかた市民フォーラムにお問い合わせください。より効果的な情報発信のためぜひ活用しましょう!

ホームページでできること

- 団体登録** 市民活動団体の基本情報を掲載できる
多くの人に活動を知ってもらえる
- 情報発信** 開催するイベントなどのPRができる
チラシの掲載も可能
- 情報収集** 活動団体検索、助成金、セミナーなど、
最新のお役立ち情報がわかる



▲メイトム宗像ホームページ

市民活動の

川柳コーナー

初夢は 補助金獲得 まちづくり
つながりは 地域のみんなで 話になって
縁 松竹梅

皆さんからの 市民活動のお知らせや活動の様子、活動に関する川柳などをお寄せください。
情報を募集!! munakata@mcforum.jp 「むなかた市民フォーラム」まで

「ふらぐ」は、むなかた市民フォーラムが宗像市市民サービス協働化提案制度において、宗像市と協働で編集・発行しています。

発行/宗像市市民活動・NPOボランティアセンター 編集/むなかた市民フォーラム 窓口時間/8:30~17:00
住所/福岡県宗像市久原180 メイトム宗像 URL / <http://kouryuukan.com> 休日/ 第1土曜日
電話/0940(36)0311 FAX /0940(37)4101 E-mail/meitomu@city.munakata.fukuoka.jp 日曜日、祝日

むなかた NPO ボランティア情報紙

ふらぐ

テーマ

「活かす」

お金の集め方、
活かし方を考える?

No.6

2015年3月発行

ふらぐの由来

「ふらぐ」は、旗印。
この旗の下に集い繋がる! という
意味が込められています。

「ふらぐ」は、NPO・ボランティア・市民活動の実践者を対象とした情報紙として、活動に役立つ情報をお伝えします。今回は「活かす」がテーマ。「どのようにお金を集め、活かすのか」を考えてみました。活動を広げるためのヒントをみなさんにご紹介します。

「稼ぐチカラ」 志とふれあいから

個性豊かなメンバーが集まる「NPO法人 宗像里山の会」。里山を守るという大きな志を抱いたパワフルな会員が竹林伐採に取り組んでいます。それをまとめる事務局の長尾明さんに話を聞きました。

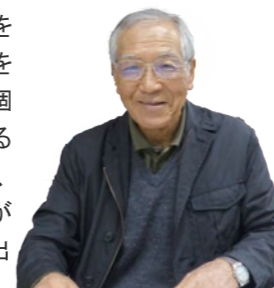


NPO法人宗像里山の会

1 行政と協働で取り組む里山保全

里山を守るためには竹と上手く付き合っていかなければなりません。竹の特性を学ぶ講座や体験活動を「宗像市市民サービス協働化提案制度」で行ったり、福岡教育大学との協定による森林再生活動や、八所宮や宗像大社の環境整備事業などを実施しています。それにより、平成25年度は約180万円の収入がありました。

土から頭を出したタケノコは一気に伸び、あっという間に山を覆っていきます。毎春タケノコ掘りをするだけでも山が竹に浸食されるのを防ぎますが、里山に関心を持って個人で竹林伐採の作業を依頼してくれる人は少ないのが実情です。しかし、3,000円の年会費を43名の会員が払ってくれるのは活動の意義を見出している証拠だと自慢できます。



事務局の長尾さん



竹を使った灯ろうイベントに参加

採りたてのタケノコ

2 交流が活動のエネルギー

2トン車を使って移動させる程、大きな竹の粉碎機を自前で持つ団体も少ないでしょう。竹を粉碎したチップで堆肥づくりや竹炭づくりなど、二次製品開発の活動が広がる一方、燃料や消耗品費もかさみます。しかし活動後に行う毎回の食事は欠かしません。謝金という形ではなく、食事でお腹を満たし、みんなとのふれあいで心を満たす。そんな場が私たちの活動のエネルギーになります。出席者への交通費を払う団体もありますが、私たちは何よりも交流の大切さを実感しています。



みんなで楽しく交流

活動の拠点を「ベースキャンプ」と呼ぶ長尾さん。チームワークを大切にすることが伝わります。毎月会員に発送する活動案内ハガキや丁寧に整理された作業日報ファイルの多さからは、長尾さんの事務局としての責任と細やかな気配りが感じ取れました。力仕事から食事係、事務仕事まで、個々の特技と収益の使い道が活動で活かされています。

問合せ NPO法人 宗像里山の会 TEL: 0940-36-8317 (長尾)

成果をあげる団体から学ぶ

再路上はさせない 思い伝え、広がる

ホームレスの自立率が高い抱樸

支援によるホームレスの自立率は全国では50%です。しかし、NPO法人抱樸の支援では93%と非常に高くなっています。なぜかという、「絶対に再路上させない」という明確な意思をスタッフで共有し、自立に向けてきめ細やかなサポートをしているからです。社会構造の変化で、非正規労働者が増えました。今やホームレスは社会全体の問題です。私たちはその問題を社会に伝え、改善するために活動しています。



温かい食事をホームレスに

資金集めの工夫

支援者へのフォロー

活動を継続するためには、支援者へしっかりと活動内容を伝えることが必要です。欠かさずに年2回の会報や報告書を届けています。

成功事例を学ぶ

他のうまくいっているNPOから学ぶこともあります。例えば、少しでも寄付に結び付くようにパンフレットに振込用紙を付ける工夫をしました。また、正会員は年会費を銀行引き落としにするなど、継続的に応援してくれる支援者が手軽に支援できる仕組みを取り入れています。

時には泥臭く

代表の奥田が講演会でこの問題を伝え、寄付してほしいと泥臭く呼び掛けています。私たちの活動が社会的に意味のあることだと位置付け、発信するからこそ寄付が集まるのではないかと思います。

企業とのコラボレーション

ドラッグストア「サンキュドラッグ」の店頭で募金箱を置いています。集まった募金と同じ額をサンキュドラッグが上乗せして、私たちに寄付してくれます。店側で募金の回収までして頂きとても助かります。

資金をミッションに投資

昨年は、寄付金で活動の拠点となる抱樸館を建設できました。今後もホームレス者の自立へ向けたサポートだけではなく、若者や障がい者の自立や高齢者の生活のサポートなどに力を注いでいきます。



江田 初穂さん

活動するきっかけは？

炊出しのボランティアに参加したことです。12月末の寒い日に弁当配りを担当し、「大丈夫ですか、また来週来ますね。」と声掛けしていました。その頃は週1回だけの活動で、他の時間は別のことをしていることに自分自身で納得がいかず、2009年から抱樸に就職しました。

どのように資金を集め、活動につなげていくかはどの団体も悩む課題です。今回、長年にわたり北九州でホームレスの支援をしているNPO法人抱樸の総務部長 江田初穂さんに話を聞き、資金集めの工夫について考えてみました。



炊出しの様子

団体紹介

2000年にNPO法人北九州ホームレス支援機構として法人化、ホームレスへの炊出し、パトロール、自立支援住宅事業などを中心に活動。現在、NPO法人抱樸と改名し、ホームレス支援だけでなく、それを取り巻く高齢者、障がい者、若者の自立と生活のサポートまで幅広く活動しています。

概要

代表：奥田 知志
正会員：164名(10,000円～)
賛助会員：375名(5,000円／月)
有給スタッフ：計93名(職員：63名 パート：30名)
ボランティア：平均約80名(炊出し拠点)
平均約40名(パトロール5か所)

収入割合

合計：約4億円／年

寄付	助成金・補助金	業務委託費
10%	30%	60%

事業内容

- ボランティア事業部…炊出し、パトロール、自立支援住宅、広報、サポート・育成、互助会、生笑一座など
- 自立支援事業部…生活相談、巡回相談、技能講習など
- 就労支援事業部…社会的就労支援、就労訓練、学習支援
- 抱樸館事業部…無料低額宿泊所、レストラン、自立支援、相談業務など
- 地域・生活支援事業部…自立者の生活安定のための生活相談、障がいを持つ方の仕事づくりなど
- 更生保護事業部…罪を犯した高齢・障がいという生活困難要因を持つ方の地域生活支援
- 法人運営事業部…総務及び経理
- その他…ホームレス支援のネットワーク事務局など

取材メモ

資金を集めるためには、それがどのように活かされるかという分かりやすいビジョンや、何のために活動するかという明確なミッションの必要性を感じました。また、それを様々な場面で発信し続けることも大切です。当たり前のことを確実にしてこそ、活動が一つまた一つと伝わります。それが輪になり、多くの会員とスタッフがいきいきと活動する抱樸の今があるのだと思います。(仲西 浩一)

地域 げんき 最前線! vol. 6

寄付を集める カナエールのしくみ

多くの市民活動団体が頭を悩ませるのが資金面です。カナエール福岡が2年わずか集めた寄付の総額は、約1,300万円。クラウドファンディングサービスなどには頼らず自分たちで集めた金額です。一体そこにはどのようなしくみが隠されているのでしょうか。

子どもの「資金」と「意欲」をサポートする

昨年5人、今年も6人の子どもたちがカナエール福岡の取り組みによって大学等への進学を果たしました。子どもたちは、入学の際に30万円と卒業まで毎月3万円の「資金」サポートを受けます。そして夢スピーチコンテストやSNSでの交流を通して「意欲」のサポートも卒業するまで受けることができます。

メインイベントは夏期に開催される「夢スピーチコンテスト」。奨学金を受ける子どもたちはこのコンテストで、進学や夢への思いを発表しなければなりません。そしてこのスピーチコンテストを支えるのがボランティアスタッフです。スピーチコンテストに向けて、奨学生1人とボランティアスタッフ3人が1チームとして3カ月間準備していきます。初めは人前でまったくしゃべることができない子ども、この3ヶ月の期間で見違えるように成長するそうです。

支援を集めるしくみ

●成功の鍵は市民の支援をいかに得るか

カナエールへの寄付の約7割は市民からの寄付によって成り立っています。残りは企業寄付や街頭募金、オンラインでの寄付支援サービスなどに分けられます。当初は企業寄付を中心に考えていましたが、福岡の地では企業からの賛同をなかなか得ることができなかったそうです。そこで窪田さんは企業寄付から一般寄付に目を向け舵を切ります。メディアやマスコミ、SNSでコツコツ情報をPRしていくことで、カナエールの活動をはじめ2年が経過した頃には一般寄付者の数は300人を超えるようになりました。カナエール東京での寄付は企業寄付が7割であることを考えると地方では「いかに市民の共感を得るか」が成功の鍵になってきます。

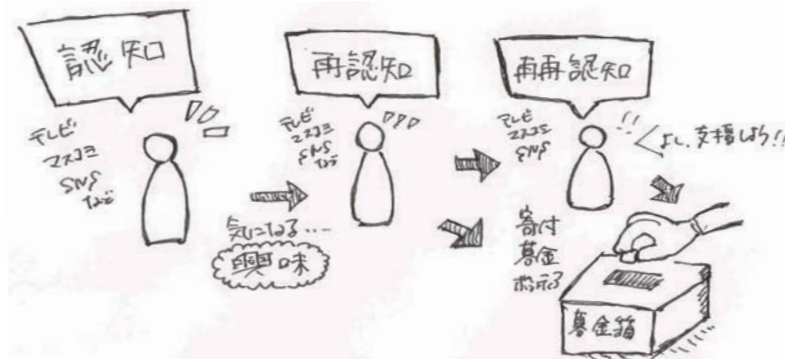
●選べる支援のカタチ

カナエールにはユニークな支援が充実しています。1口2,000円を毎月支援する継続サポートから予算に合わせて自由に寄付する一般寄付、夢スピーチコンテストのチケット購入、古本での寄付やボランティア参加など個人が支援のカタチを選べます。

●メディアやマスコミ、SNSを効果的につかう！

カナエール福岡の市民寄付者はメディア、マスコミ、SNSなどの情報を見て支援をはじめた人が全体の約半数を占めています。そして寄付者の大多数は、1回だけではなく複数回メディアやSNSを通してカナエールの取り組みを見てから寄付を実行します。1回より2回、2回より3回見てもらうために、メディアやFacebookなど様々な媒体を駆使して継続的にPRしていくことが多くの支援者の獲得につながっています。

■人は2回目3回目動く



事例紹介 カナエール福岡

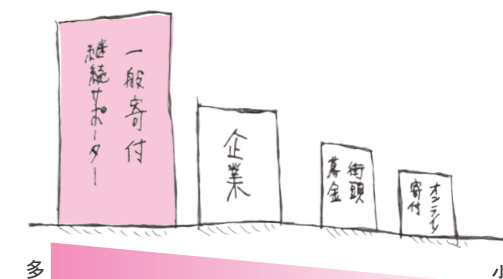
「カナエール」とは、児童養護施設を退所した後には大学や専門学校へ進学する子どもたちへの奨学金支援プログラムの名称。(2011年に東京のNPO法人が創設) 入学から卒業までを地域の市民や企業の寄付により支えるプログラムで、児童養護施設の子どもの希望格差をなくし、社会全体で「夢を叶えるチカラ」を育むことを目指している。

今年も福岡市内で開催します!! 夢スピーチコンテスト2015



2015年7月5日(日) 13時～16時
5月頃より一般チケット販売開始
詳細は、[カナエール福岡](#) で検索!!

■支援の内訳



■活動を支えるWebツール、サービス

広報 広告	Facebook ページ	Google Apps for nonprofits	Yahoo Links for good
	SNS	Web 広告	Web 広告
資金 回収	CANPAN 決済サービス	ゆうちょ 振替	PR には 様々な 方法が ある んだ!
	クレジットカード決済	銀行振込	
募金 寄付	gooddo	チャリボン	
	クリック募金	古本買取寄付	

この方に伺いました!

窪田 広信さん

特定非営利活動法人
スマイリーフラワーズ代表
1977年大阪府生まれ。
児童養護施設の子どもの海外留学支援事業などに
取り組みつつ、2013年から
カナエールの福岡開催のため
カナエール福岡実行委員会を
立ち上げる。

